

台風による橋の流失

台風に伴う豪雨のため、河川の氾濫や土砂災害により堤防が決壊したり、橋が流失することがあります。橋の流失は道路の通行止めや集落の孤立により、住民の生活や地域の産業に影響を及ぼします。昭和 20 年の枕崎台風により被害に見舞われた愛媛県松野町と、昭和 25 年のジェーン台風の被害を受けた徳島県上板町の例をお伝えします。

■昭和 20 年枕崎台風による天神橋などの流失（愛媛県松野町）

昭和 20 年（1945）9 月 17 日～18 日に襲来した枕崎台風により、愛媛県下の被害は死者 159 人、行方不明 23 人、負傷者 328 人、家屋の全壊 6,955 戸、半壊 10,943 戸、流失 890 戸、床上浸水 922 戸、床下浸水 14,640 戸、田畑の流失 701ha、橋梁流失 254 箇所、堤防決壊 245 箇所等に及びました。松野町でも河川が氾濫して、堤防が決壊、田畑を流し、人家にまで浸水しました。中でも洪水の激しかったのは広見川であり、松丸、吉野、蕨生地区の平地帯は、人家のほとんどが床上浸水の被害を受け、大門橋や祝井の鉄橋、天神橋等が流失し、護岸の破壊は数知れぬほどでした。農作物に与えた被害は甚大で、戦争直後の食糧難の時代であり、闇米の価格が一躍はね上がったそうです。＜松野町誌編集委員会編「松野町誌改訂版」2005 年、愛媛県警察史編さん委員会編「愛媛県警察史第 2 巻」1978 年＞



■昭和 25 年ジェーン台風による前谷橋の流失（徳島県上板町）

昭和 25 年（1950）9 月 3 日、ジェーン台風により、徳島では 10 時から 11 時の間に 86.9 ミリの強雨があり、北北西の風 29.2m の風速を記録しました。徳島県下の被害は、死者 28 人、行方不明 10 人、負傷者 282 人、堤防決壊 225 箇所、家屋の全壊 451 戸、半壊 2,138 戸、田畑の流失・埋没 231ha、冠水 13,638ha に及びました。水稻被害面積は 16,950ha で、これは水田全体の 60.3% に相当しました。上板町内では宮川内谷川が氾濫するとともに、泉谷川の出水により前谷橋が流失しました。町内でも相当の被害が出たようですが、記録がなく被害状況は不明とのことです。＜上板町史編纂委員会編「上板町史下巻」1985 年、児島忠平編「松島町誌」1967 年、徳島県史編さん委員会編「徳島県災異誌」1962 年＞

